

指定管理者からの令和6年度事業報告概要

施設名	岡山県立青少年農林文化センター三徳園
施設所在地	岡山県岡山市東区竹原505

【指定管理者の概要】

名 称	公益財団法人岡山県農林漁業担い手育成財団	代表者	理事長 森下 慎
所在地	岡山県岡山市中区古京町一丁目7番36号		

【指定管理の概要】

指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日	報告期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
管理業務の内容	・三徳園の施設及び設備の維持管理に関すること。 ・三徳園の施設の利用等の許可に関すること。 ・三徳園の運営に関すること。		

【管理体制の状況】

園長 (常駐1名)	総括主幹・事務局長・業務専門員 (常駐2名、非常駐1名)	賃金雇用者 (8名)
	<民間事業者>設備保守点検業務等	

【利用等の許可の状況】

(単位：件)

	研修施設		合 計
許可件数	6年度	172	172
	5年度	175	175
	増 減	△3	△3

【維持管理の業務の実施の状況】

項 目	内 容
施設、設備の維持管理業務の実施状況	・研修交流館、矢野講堂及び矢野館の維持管理 ・施設、設備、農業機械重機の修繕・保守点検 ・栽培展示園等の管理 ・園内修景管理 ・清掃・ごみ処理 等
施設、設備の利用状況	来園者数：179,730人、研修施設利用者数：5,043人 ・ホリデイ就農ゼミ (8回 のべ168人) ・農福連携指導者研修 (9回 のべ64人) ・おためし農福 (3回 のべ30人) 等
自主企画事業の実施状況	計23回実施 ・園児向け体験教室 (113人) ・職場体験学習受入 (中学生7人) ・サポーター園内清掃活動 (12回) ・展示即売会 等

【利用料金の収入及び減免の状況等】

(単位：円、件)

	研修施設		合 計
収入額	422,170		422,170
利用件数	172		172
減 免 額	1,020,600		1,020,600
減免理由	・県事業、県補助事業及び委託事業での利用のため。 ・三徳園友の会の三徳園の自主企画（即売会等）への協力及び奉仕活動（草刈等）利用のため。		

指定管理者からの令和6年度事業報告概要

【管理に係る収支の状況】

(単位：円)

		6 年度	対前年度増減額	5 年度	備 考
収 入 額 A		33,868,865	289,558	33,579,307	6 年度収入額 ・指定管理料のうち賃金及び物価の 上昇に応じた増額分 933,633円 (財源は全額国庫) ・その他の主なもの 農福連携研修事業受託料 1,134,881円
内 訳	指定管理料	27,895,633	933,633	26,962,000	
	利用料金収入	422,170	40,430	381,740	
	事業収入	4,262,243	△245,780	4,508,023	
	その他	1,288,819	△438,725	1,727,544	
支 出 額 B		34,245,280	365,371	33,879,909	
内 訳	人件費	21,756,717	△132,124	21,888,841	
	管理運営費	12,488,563	497,495	11,991,068	
	事業費	0	0	0	
	その他	0	0	0	
収 支 額 A－B		△376,415	△75,813	△300,602	
県への納入金		—	—	—	
実質的な県負担額		26,962,000	0	26,962,000	

【特記事項（管理運営業務の実施状況の点検結果）】

点検項目		区分	特記事項（評価すべき点・改善すべき点）
管理 運 営 状 況	①適切な施設 管理の履行	B	事業計画に沿った適切な管理が履行されていた。
	②法令等の遵守 状況	B	関係法令等に基づく義務は適切に履行されていた。
	③安全性の確保	B	危機管理マニュアルを徹底し安全性の確保に努めていた。開園前の巡回点検等で、危険性を確認された場合は立入禁止や危険箇所表示を行うなど、来園者の安全確保を最優先にした管理が適切に行われていた。 新型コロナウイルス等感染症拡大防止のため、引き続きアルコール消毒液の設置等が実施されていた。
	④財産の適切な 管理	B	建物・施設等の適切な保守管理がなされていた。
導 入 効 果	①利用状況	B	梅雨期の雨や猛暑の影響により利用者が微減したと考えられる。 施設の利用は県の研修が中心であるが、安全に活用できるよう配慮されていた。 〔総入園者数〕 R 6：179,730人 ← R 5：185,850人
	②収支状況	B	天候等の影響により園内農場の農産物販売額が微減するとともに、物価高騰等の影響で管理運営費が増加したが、効率的な運営により収支は昨年度と同程度のマイナスとなった。
	③サービス向上	B	施設の管理状況について来園者の満足度は高く、展示即売会をはじめ自主企画事業を実施するなどサービス向上に努めていた。
管理運営業務全般		B	協定書や計画書に基づく適切な管理がなされるとともに、展示即売会や農福連携事業など、自主的な取組がなされていた。

※「区分」欄は、点検結果の区分。区分の内容は次のとおり

A：予定していた業務水準を上回った。

B：予定していた業務水準を概ね実施した。

C：予定していた業務水準の一部が実施できなかった。 D：予定していた業務水準を下回った。